

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答
医療・保健・福祉サービスの提供	1	母子保健に関する情報提供	○母子健康手帳【情報提供】 ・外国人住民に多言語による母子健康手帳を提供し、産前産後育児に役立つ。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・ベ・イ	なし	なし	全く日本語が通じない外国籍の方が通訳なしで来所した場合は説明が難しい内容がある。また対応時間もかかり来所者の負担になっている可能性がある。	母子保健課	発行数19冊(英語:7冊 ベトナム語:6冊 中国語:3冊 スペイン語:1冊 ハンガール語:1冊 タイ語:1冊) ※R3年8月末現在 翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。		
			○乳幼児健診問診票【情報提供】 ・外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし	全く日本語が通じない外国籍の方が通訳なしで来所した場合は説明が難しい内容がある。また対応時間もかかり来所者の負担になっている可能性がある。	母子保健課	健診会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。		
			○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 ・外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	英	なし	なし	なし	医師感染症課	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。4件		
			○予防接種予診票【情報提供】 ・外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。 ・予防接種の未接種者の把握を行い、訪問や健診の際に保健師が翻訳された資料等を利用しながら、未接種者への説明、支援を継続していく。	英・中・韓・ス・ポ・タイ	なし	なし	なし	医師感染症課	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。4件		
	2	子ども・子育てに関する情報提供	○甲府市子育てガイドブック等の配布【情報提供】 ・妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなどの情報提供を行う。 また、相談窓口等の主要部分について、外国語に訳した資料を必要に応じて添付する。	英、中、韓、ポ、ス	なし	なし	5か国語の翻訳が終了したので、令和2年度以降の計画はない。	子育て支援課	必要に応じて配布する資料が準備してあるが、配布実績は今のところない。	令和2年6月末現在の山梨県国際交流協会が提示している「市町村別在留外国人数」の資料を参照すると、ベトナム語のニーズもあるように思われるが、「令和2年度以降の計画はない」と記載されている。5言語で対応は可能なのか。「やさしい日本語」の対応も「なし」となっているが、実態に合わせた対応を検討していただきたい。	その他の言語については、「かながわ国際交流財団」で掲載している「外国人住民のための子育てチャート」や、タブレットの翻訳アプリを活用するなど、状況を注視しながら対応を検討します。「やさしい日本語」の対応につきましても主要な部分について作成を検討していきます。(作成中)
			○国民健康保険制度の周知【情報提供】 ・外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	配布用パンフレットとして、(一財)自治体国際化協会の資料を活用	各国の医療制度の違いにより、日本の国民健康保険制度について十分な理解が得られない場合がある。	健康保険課	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは多言語に対応しているため活用している。 配付数:22件 (英10、中11、ベ1)		
			○外国人が受診しやすい体制の整備を図るため、集団健診会場に通訳対応職員を配置する。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	通訳対応職員の存在や積極的な活用について周知する必要がある。	健康保険課	4月に全戸配布した「甲府市民健康ガイド」に、集団健診会場で外国語通訳が必要な方への案内を掲載した。なお、8月までに計12回の集団健診を行ったが、外国語通訳を必要とする方はいなかった。	・場所が健診機関に変更になっても、通訳の必要性は変わらず有り。健診機関には通訳はいたのか。・市の健診を受ける在留外国人の国籍別人数についてはデータがあるのか。市の通訳対応職員は、十分医療の説明ができるのか。・通訳が必要なのは健診場面だけでなく、むしろ健診結果の説明場面である。これについては、どのようにしていたのか(R2年度)。	①令和3年度から集団健診会場での通訳を必要とする場合は、申込みの際に事前に申出をしてもらうように改めたが、これまで通訳を必要とする方はいなかった。 ②ある。 ③健診会場の医療従事者と連携しながらの対応とるので、十分な説明は可能。 ④個々の状況に応じた対応が出来るようにしているが、昨年度の実績はなかった。
	3	国民健康保険等の情報提供	○健診自体を知らない外国人が多く、健診を受診しない(できない)状況となっていることから、案内チラシの作成及び配布を検討するとともに、やさしい日本語会話・異文化体験サロンなどの機会を利用して直接外国人へのPRを行う。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	健診の必要性に理解を得るためのPR方法を検討する必要がある。	健康保険課	4月の特定健診受診券発送時に3か国語(英・中・韓)対応の受診案内チラシを同封した。		
			○介護保険のしくみ【情報提供】 ・介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	なし	市民課外国人相談担当、配布パンフレットに(一財)自治体国際化協会の情報を活用	介護が必要となったときに適切に利用してもらうため、引き続き制度の周知を続ける。	介護保険課	12人に同封		
	4	介護保険制度の周知	○健康づくり ・情報活性化モデル地区(新田地区)が開催する健康相談会への協力及び支援 ・国民健康保険の集団健診時における通訳者を派遣する。	①英・中・韓 ②英・中・韓及び音声通訳アプリ(全10言語:英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	対応	黄川田地桜ヶ丘自治会連合会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	市民課	・実施主体であるモデル地区において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見合わせている。 ・8月末現在、健康保険課からの派遣依頼の実績はない。		
			○医療機関における多言語対応(継続)	英語、中国語、韓国語、ベトナム語を主に使用	なし	なし	翻訳機を介しても、聞き取りできない場合の対応	医事課 (市立甲府病院)	翻訳機(ポケット)の最上位機種を利用し、毎月2~3名の患者に対応している。操作しやすいので医師からも好評を得ている。 翻訳機を介しても、意思の疎通ができない場合の対応としては、【入院】患者の家族・友人等で通訳できる方を通じて、患者との意思疎通を図っている。 【外来】病状の悪化等を考慮し、原則通訳の付き添いをお願いしている。		

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答	
基本目標1 ■安全で安心して暮らせるまちづくりの実現	1-2 災害・防災への支援整備	1 外国人市民に関する防災・防犯対策の推進	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 ・「わが家の防災マニュアル外国語版」を市民課へ設置。 (転入者等へ配付)	英・中・韓・ポ・タ	対応	なし	転入者への配布が主となるため増刷や改訂版作成時に部数の見込みを立てることが困難である。	防災企画課	市民課へ設置し、転入者等へ配布 英語：1部、中国語：1部 韓国語：1部、ポルトガル語：1部 タガログ語：1部			
			○「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールの周知に努める。【情報提供】	英・中・韓	なし	なし	防災情報を取得できるツールを広く周知するとともに、いざというときに、適切な避難行動を取っていただけよう、粘り強く取り組んでいく必要がある。	防災企画課	ホームページや広報等において、周知に努めている。 ・アプリ：12,510ダウンロード(累計) (4月～8月)939ダウンロード ・メルマガ：5,112登録(累計)			
			○甲府市総合防災訓練の宿泊訓練等において、外国人担当職員を配置して実施することにより、外国人住民が参加しやすい訓練とする。 ○大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施する。	日本語のみ 多言語	なし 対応	山梨県観光文化部 国際観光振興課 ①大学、山梨県国際交流協会 ②自治会	地域で活躍できる外国人防災リーダーを育成するため、講義は漢字を含む日本語を用いた資料を用いて行われる。そのため、受講者の日本語理解力がある程度ないと防災リーダー研修の受講が難しい状態である。防災教室や防災訓練への積極的な参加を促し、外国人市民等の防災意識や知識の更なる向上を図る必要がある。	地域防災課	①総合防災訓練は11月実施予定(宿泊訓練は実施しない) ②防災講話は実施未定	防災に必要な漢字は外国人にとってかなり難しいものが多く、N2、N1(日本語検定)でないと資料の理解に無理があるのではないか。 →(1-2-2【多言語支援のための応援体制の整備】へ記載。)		
			○甲府市洪水ハザードマップ英語・中国語・韓国語版を窓口等に設置。	英・中・韓	なし	なし	県から貫川と鎌田川の浸水想定区域が新たに示されたことから、これらを反映したマップの作成と、内容についてもやさしい日本語化の対応について検討する必要がある。	防災企画課・ 道路河川課	多言語化対応版(英語・中国語・韓国語)については作成済み。 今年度の洪水ハザードマップ見直し業務においても、多言語化対応版(英語、中国語、韓国語)を作成予定。			
			○防災に関する活動 ・市内の大学や専門学校等の留学生を対象とした防災教室を行う。	英・中・韓・ポルトガル・タガログ・日	対応	山梨県国際交流協会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	市民課	新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視し、開催を検討中である。 なお、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」内で防災教室を開催予定。	・山梨県国際交流協会が甲府市と連携して実施した「防災教室」は、令和2年度に大原学園で実施したが、令和3年度の甲府市と連携した取り組みについての詳細は？	山梨県国際交流協会と協議のうえ、今年度は甲府市単独で実施することとなった。	
		2 多言語支援のための応援体制の整備(新規)	○多言語支援のための応援体制の整備 ・山梨県災害多言語支援センター山梨県国際交流協会と協議する中で、外国人に対応可能な防災リーダーの育成を検討していく。	日本語のみ	なし	山梨県観光文化部 国際観光振興課	地域で活躍できる外国人防災リーダーを育成するため、講義は漢字を含む日本語を用いた資料を用いて行われる。そのため、受講者の日本語理解力がある程度ないと防災リーダー研修の受講が難しい状態である。	防災企画課	山梨県観光文化部 国際観光振興課を通じて、国際交流協会からフェイスブックを通じて防災リーダー育成研修会への参加を呼びかけてもらったが、受講希望者がいなかった。	・山梨県災害多言語支援センターは、山梨県災害対策本部が設置される災害時において、必要な場合に県と国際交流協会が協議の上設置するものであり、常設機関ではない。 ・具体的な内容や支援・関係団体等の記載に当たっては、県や国際交流協会と協議・検討が必要である。 ・防災に必要な漢字は外国人にとってかなり難しいものが多く、N2、N1(日本語検定)でないと資料の理解に無理があるのではないか。	意見にあるとおり、国際交流協会へ修正します。 まずは、避難所へ避難した外国人に対するつなぎ役として、日本語の理解力がある程度ある外国の方や外国語の堪能な日本の方に防災リーダーになってもらうことを想定している。	
			3 感染症に関する多言語の情報提供(継続)	英・中・韓・ス・ポ・タイ・仏・ヒ	なし	なし	なし	なし	医療感染症課	○感染症の情報提供 ・甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能となることから、感染症に関する最新の情報をホームページに掲載するよう努めている。	コロナウイルス及びワクチンに関する情報提供について、どのような問題点があったか。	甲府市ホームページの翻訳機能を活用することで、多言語による情報発信が可能であることから、情報提供については特に問題がなかった。 また、市民課外国人相談担当職員が「新型コロナウイルス感染症の多言語情報」「新型コロナウイルスワクチン予防接種の多言語情報」ページを作成し、情報提供を行った。 新型コロナウイルス感染症に係る個別の案内としては、電話サービスを利用している。(厚生労働省、外国人在留支援センターFRESO)
			4 自主防災組織等への外国人市民の参加促進	多言語	対応	①大学、国際交流センター 山梨県国際交流協会 ②自治会	防災教室や防災訓練への積極的な参加を促し、外国人市民等の防災意識や知識の更なる向上を図る必要がある。	地域防災課	①未定 ②11月実施予定	・「支援・関係団体等」の欄の、国際交流センターは、山梨県国際交流協会のことか、あるいは各大学の国際交流センターのことか。	山梨県国際交流協会になります。	

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答
1-3 情報の多言語化と相談体制		1	生活関連情報の提供 ○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 ・甲府市に住む外国人向けに、様々な手続きや知識を掲載し、情報提供に努める。	英・中・韓・ポ・ス・日	対応	—	増加するベトナム人への対応	市民課	・7言語で作成したガイドブックについて、冊子とともにQRコード付き多言語版チラシを外国人相談窓口へ設置し、ホームページにも掲載済みである。 ・転入手続きの際に上記ガイドブック、ゴミの出し方(QRコード付き多言語)、自治会加入のお願いチラシ(英・ポ・韓・ス・中)を配布している。 ・ゴミの出し方の多言語版を、本庁舎と各窓口センターに設置している。		
		2	多言語による行政情報の提供 ○やさしい日本語での対応を的確に翻訳されるよう努める。 ○ホームページの多言語への対応(自動翻訳や音声読み上げ)	翻訳:英・中(簡体字、繁体字)韓国・ポルトガル・スペイン・フランス・タイ・ヒンディ・インドネシア・ベトナムの11言語。 音声読み上げ対応:翻訳対応言語のうち、中(繁体字)・インドネシア・ベトナムを除く8言語。	対応	なし	次年度のホームページリニューアルにおいては、多言語への対応を図ること。	情報発信課	コロナ禍でのさまざまな情報をわかりやすいやさしい日本語対応での提供に努めた。		
		3	日常生活における相談窓口の設置 ○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象に、英語・韓国語・中国語を話せる3名の外国人相談員を配置するとともに、その他の言語に対応するため音声翻訳システムを活用し、日常生活における相談に対応していく。 ②就学相談は、学校教育課と連携し不学年児童・生徒が生じないように努める。	①②英・中・韓 音声通訳アプリ(全10言語:英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	対応	①なし ②学校教育課	増加するベトナム人への対応	市民課	①入管手続き等の通常の相談に加え、ワクチン接種や支援金申請など、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。 ②就労相談は8月までは実績がなかった。	市民課窓口で外国人住民のニーズを把握したり、満足度を探るため、アンケート調査をしていただきたい。	実施できるよう検討する。
		4	ゴミの出し方の案内 ○ごみの出し方【情報提供】 外国人住民に、多言語による「ごみの分け方・出し方」の冊子を提供し、ごみの正しい出し方の周知を図る。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・ベトナム	なし	減量課	正しいごみの出し方については、「ごみの分け方・出し方」の冊子」を継続して配布するとともに、ごみ袋への外国語表記をすることにより、ごみの分別周知をさらに進めていく必要がある。	減量課	ごみの分別冊子は継続して市民課等を通じ配布している。ごみ袋への多言語表記もR3年度より開始し流通している。	ゴミ置き場にいろんな言語のゴミの出し方を貼ればもっと良い結果につながると思うが。	集積所を利用している方々のニーズを把握しながら対応を図ってまいります。
		5	多言語による外国人市民に対する公営住宅入居の促進(新規) ○公営住宅の入居者募集案内等【情報提供】 多言語による公営住宅の入居者募集案内等の広報の充実を努める。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	制度を理解してもらおうのが難しく、多言語への対応が必要と思われるが、外国語が使える職員がいないため、市民課外国人相談担当職員に依頼し、外国人入居者及び入居希望者に対応していく。	住宅課	入居手続きについて多言語版の使用はなかったが、入居後ごみの分別冊子を複数の世帯に配布した。		

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答
		6	税・料の納付相談等の充実								
			○外国人のための保険料納付相談 ・甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料が滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ	対応	市民課外国人相談担当	なし	健康保険課	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、市民課との連携を図り納付相談を行った。 納付相談:246件 また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免申請に係る英語・韓国語の案内を職員が自作し周知を図った。		
			○外国人のための保険料納付相談 ・甲府市在住の外国人においては、制度が理解できていないため、保険料が滞納となるケースがある。	英・中・韓	なし	市民課外国人相談担当	なし	健康保険課	納付相談は随時受け付けているものの、外国人住民の納付相談実績0件。		
			○外国人のための保険料納付相談 ・介護保険制度が理解できない為、介護保険料を滞納する場合がございます。このため、制度の理解を図り、個々の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	英・中・韓・ポ・ス・他	なし	英(滞納整理係職員) 中・韓(市民課外国人相談担当) ポ・ス・他(翻訳アプリ等)	制度の説明だけでなく保険料を滞納した時の給付制限や差押等の滞納処分についても説明していく必要がある	介護保険課	正確に内容を伝えるという点においては、各言語で説明することが最善であるが、これまで機械翻訳は精度が低く、実用に耐えない物が多かった。しかし、最新のAI技術を活用した翻訳は充分実用となる物も出てきており、それらを活用している。(中・韓・ポ・ス)		
			○滞納者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語の使用を行う。	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課外国人相談担当	なし	滞納整理課	外国人65件の来庁相談に応じたが、日本語が不自由な場合には通訳として知人等を同伴しており対応に苦慮したことはなかった。		
			○外国人滞納者への納付指導 ・やさしい日本語での対応を取りながら、各世帯の生活状況に応じた納付指導を行っていく。	英・中・韓	対応	市民課外国人相談担当	制度を理解してもらおうのが難しく、多言語への対応が必要と思われるが、外国語が使える職員がいないため、市民課の外国人相談担当職員に依頼し、外国人滞納者に対応していく。	住宅課	各世帯の生活状況・収入状況・未納額が異なるため、未納明細等の資料を使い、やさしい日本語で対応している。		
			○水道料金等の使用開始申込の促進 ・給水区域内に住む外国人向けに、使用開始手続きを促進するチラシを配布する。	英・ポ・中・韓	なし	なし	なし	営業課	無届で水道を使用している外国人に対し、水道契約の必要性を正しく案内することができた。(月平均で40枚程度配布)		
	2-1	1	外国人市民の地域社会への参画促進								
			○自治会への理解・加入案内 ・市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、自治会活動への理解や加入促進に努める。	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課	自治会活動への理解を深めてもらい、外国人の加入へ繋がるよう、継続した周知活動を行っていく必要がある。	協働推進課	やさしい日本語版や外国語版のチラシを市民課へ設置するとともに、転入者には市民課においてチラシの配布を行っている。	どのような周知活動を考えているか。	これまでも市民課が主催する「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」の中で、協働推進課職員から外国人市民に対して、自治会の役割等を周知・説明する場を設けてきた。今後も同様に取り組んでいく。
			○外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	なし	なし	警察・山梨学院大学・ユニタス・自主防犯ボランティア団体	新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、実施について慎重な判断が必要である。	危機管理課	新型コロナウイルスの感染状況を注視する中で、検討している。		
		2	外国人市民の市政に対する意識啓発・醸成								
			○継続した情報の提供 ・市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、市政への意見制度について周知に努める。	英・中・韓	対応	市民課	制度への理解を深め、利用していただけるよう継続した周知活動を行っていく必要がある。	協働推進課	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版や外国語版のチラシの設置を市民課にて継続して行っている。		
		3	地域住民等に対する多文化共生の意識啓発								
			○情報の提供 ・甲府市の各関係機関の窓口へやさしい日本語や多言語化したパンフレットを設置するとともに、様々な機会を捉えてPRする。	英・中・韓・ポ・ス	対応	—	なし	市民課	やさしい日本語や多言語パンフレットの設置により、地域住民に対し意識啓発を図っている。	ここで多文化共生意識の啓発対象となる「地域住民」とは、外国籍の方か、外国籍の方を取り巻く日本人に対し、多文化共生の意識啓発が肝要ではないか。	やさしい日本語や多言語で書かれたパンフレットを窓口等で目にするのが、外国籍の方と接することの少ない日本人住民にとって多文化共生の意識啓発となることを期待している。

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答	
基本目標2 ■連携・協働による多文化共生の地域づくり 日本語の学習支援と充実	2-2	1	個別教育相談の実施 ○児童生徒や保護者との教育相談 児童生徒や保護者の母語を話す日本語指導員等を介して、学校生活や進学等に関する教育相談を行う。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	言語が多様化しており、対応できない言語もある。特に最近ではベトナム語の依頼ケースが増えている。	学校教育課	学期末の懇談等を利用して計8回実施 ・中学7回(懇談6回、進路指導1回) ・市教委1回(就学相談)	増加傾向にあるベトナム語への対応は。	人事業務を行う山梨県教育委員会に、ベトナム語に対応できる教職員の配置を引き続き依頼する。	
		2	多文化共生・国際理解教育の推進 ○外国語指導助手の招聘等 ・姉妹都市であるデモン市及び県内在住の外国語指導助手を市立小中学校等へ配置することにより、児童生徒への生きた英語学習機会を提供する。	英	—	デモン市教育委員会 クレア(JETプログラム国委託機関)	招聘者等においては、出入国制限により来日等に支障が生じることから、現地教育委員会や大使館等と適宜連絡を取り合い、情報収集に努める。	学校教育課	デモン市招聘ALT(外国語指導助手) 3名中3名来日記置済み JETプログラムALT 4名中1名来日記置済み (残り3名は9月、10月、11月に配置予定)			
		3	日本語指導の充実 ○児童生徒への日本語指導 ・児童生徒へ日本語指導センター校配置教諭や日本語指導員による日本語指導を行う。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	言語の多様化により、対応できない言語もある。また、指導員の高齢化も進んでいるため、人材確保に向け、情報収集に努める必要がある。	学校教育課	センター校教諭7名(市内4校がセンター校) ・市内の26校(小17、中9)で日本語指導日本語指導員9名 ・市内の14校(小9、中5)で日本語指導			
		4	進路指導・キャリア教育 ○進路ガイダンスや進路相談の実施等 ・中学校生活において早い段階での進路ガイダンスや進路相談の実施等、高校受験に配慮した取組を推進する。	英・中・韓・ポ・ス	—	山梨県教育委員会	言語の多様化により、対応できない言語がある。「入試における帰国生徒等特別措置」や、県立大学主催の「多言語による高校進学ガイダンス」等の周知に努める。	学校教育課	・中学3年生に日本語指導を通して、入試の情報や勉強のアドバイスを実施 ・1学期末の懇談等で保護者を交えての進路指導を実施(2学期以降も随時実施予定)			
	5	学校からの情報提供	○小中学校入学案内の発送 ・小中学校に入学する児童生徒の保護者に入学案内を送付。 ○入学案内を送付後、反応の無い世帯に対して家庭訪問を実施し、一条校への入学希望の有無や無い場合の就学先(インターナショナルスクールなど)の確認を行っている。	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	対応	なし		学事課窓口に来庁される時には、ある程度情報を持っていることが多く、学事課が最初の相談窓口になることは少ないため、初めからの周知の機会は限られる。	学事課	入学通知書の発送日に合わせて入学手続きの案内文を該当する外国人世帯に発送予定(小学校10月4日発送予定、中学校11月4日発送予定) 今年度より、対応言語にベトナム語を追加入学案内送付後の対応は昨年までと同様反応の無い世帯に対し家庭訪問を実施し、就学先の確認を行う予定		
			○就学案内のチラシ(文部科学省)【情報提供】 ・外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供。その際、必要に応じて山梨子どもネットについても周知。	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし		左記の対応言語では、案内の内容を理解できない世帯がある。	学事課	左記に加え、ベトナム語とフィリピン語も必要に応じて配布		
			○保健調査票等の配布 ・小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係諸用紙を配布	英・中(簡)・韓・ポ・ス	対応	なし		左記の対応言語では、保健関係諸用紙を理解できない保護者がいる。	学事課	定期健康診断の際に配布		
	6	日本語の学習機会と情報提供	○日本で生活する外国人のための「日本語・日本文化講座」を開催する。	—	対応	山梨県立大学	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	市民課	6月6日より全20回を開催している。 感染拡大状況を鑑み、回によっては延期等の対応をしている。			
			○「やさしい日本語サロン」(日本語・中国語講座)モデル地区(新田地区)住民が講師となる日常会話の講座を支援する。	英・中・韓	対応	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	市民課	実施主体であるモデル地区において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を見合わせている。			
			○「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」を外国人相談員が中心となり開催し、日常会話・日本文化を体験していただく。 ①定期実施 ②外国人労働者を対象とした出前講座を開催する。	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	市民課	①10月19日より4日(全8回)開催予定。 ②検討中			
			【情報提供】 ○日本語学習に関連した所蔵資料の利用・貸出等	英・中他	—	—	利用者が少ない	図書館	季節や国内外の時事、文化、風習、おすすめ本等をテーマとした関連資料の展示を月単位で実施している。また、関連図書の購入を行い、配架を行った。(購入冊数13冊)	記載された「課題・問題点」に対し、どのような対応策を計画されているか。	引き続き、展示企画にタイムリーな話題等を盛り込み、関連資料を紹介することで、日本への理解を深めていただく。	

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答
地域社会のグローバル化の推進	3-1	1	公共施設・生活関連施設の多言語化促進 ○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の配布 ・中心市街地のジュエリー関連店舗等を紹介するマップを配布。観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。	英・中	なし	山梨県水晶宝飾協同組合	コロナで開催されない場合がある	商工課	令和3年度版をR3.8.18に作成した。	令和2年度の資料では「やさしい日本語」について「検討」と記載されていましたが、「検討」から「なし」へと変更された理由は何か。	R2年度から日・英・中の言語が一つとなった冊子となっている。文字制限がある中で、事業者が伝えたい情報をさらに簡素化することが困難などの理由のため。
			○公共サイン計画の推進 ・甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図るため、サイン所管部局に定期的な公共サインの点検を求め、交換や修繕が必要なサインについては公共サイン計画を適用したもへの更新を促し、また、新たに設置されるサインについてもサイン計画が適切に運用されるように設置部局と協議を行う。	英語外	—	なし	既存の公共サインの数は膨大であり、全てを速やかに更新することは財政面で大きな負担となるため、効果的かつ効果的な整備を進める必要がある。	都市計画課	サイン所管部局に公共サインの点検を依頼した。また、既存公共サインの更新時期の目安を定めた「甲府市公共サイン整備方針」に基づく適切な維持管理を依頼した。		
		2	多言語による外国人向け観光情報の発信 ①甲府市観光案内所における多言語対応 ・甲府市観光案内所において、英・中(繁)・中(簡)に対応できる職員の配置と、無料Wi-Fiやタブレット端末(3者間通話や翻訳アプリ搭載)によるその他の言語への対応により、外国人観光客の更なる利便性の向上に努める。 ②多言語での情報発信 ・外国人観光客への情報発信について、ターゲットを踏まえ、ニーズに沿った発信方法や媒体を検討していく。 ③JNTO(日本政府観光局) ・平成29年度より加盟しているJNTOに対して、多言語による本市の観光情報を提供し、JNTOのSNS等で配信する。	①職員による案内【英・中(繁・簡)】 タブレットによる案内【英・中(繁・簡)、ポ、ス、タ、その他7か国語】 ②検討中 ③英、韓、中(繁・簡)、タ、その他2か国語	—	①(一社)甲府市観光協会 ②検討中 ③JNTO	なし	観光課	①実施中 ②対応言語:英・中(簡・繁) ・主要観光スポットの周辺案内板等の改修予定(武田神社周辺・かいてらす周辺) ③JNTOにて3記事(慈恩寺・昇仙峡黄金池・板敷溪谷)を掲載		
	3	無料公衆無線LAN環境の保守管理業務 ○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)システム保守業務 ・市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、令和2年度までに整備した公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の保守管理を行い、無料公衆無線LAN環境の維持に努める。	①ソリューション(主要観光施設4台)・・・日、英、中(繁・簡)、韓、その他1か国語 ②①以外・・・日、英	—	NTT東日本山梨支社	なし	観光課	Wi-Fi設置数:277箇所			

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答
基本目標3 ■グローバル化の推進	3-2 多文化間交流の推進	1	姉妹・友好都市等との交流事業の推進 ○姉妹・友好都市等 姉妹都市 1958年8月：アメリカ合衆国アイオワ州デモイン市 1975年8月：フランス共和国アキテーヌ州 ピレネー・アトランティック県ポー市 友好都市 1961年4月：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロダイ市 1984年9月：中華人民共和国四川省成都市 友情都市 2002年9月：大韓民国忠清北道清州市 ○交流事業 ・ロダイ市：友好都市締結60周年であるが、新型コロナウイルス感染症の影響で訪問による交流ができないため、記念品を贈呈する。 ・成都市：山梨県・四川省友好交流35周年事業に伴い、10月に訪問し、交流を図る。	多言語	—	甲府市国際親交委員会	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり	秘書課	10月に山梨県・四川省友好交流35周年事業に伴い、四川省成都市を訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となった。		
		2	海外姉妹校都市等児童・生徒との交流の推進 ○海外姉妹校都市等の児童生徒との交流の推進 ・国際性豊かな視野の広い青少年の育成と姉妹都市等との交流を図ることを目的に、姉妹都市デモイン市、及び友好都市成都市と海外研修派遣事業及び受入事業を実施している。	英・中	—	デモイン市教育委員会 成都市教育委員会	出国制限により事業の開催が困難となることから、現地教育委員会と適宜連絡を取り合い、情報収集に努める。	学校教育課	現地教育委員会と協議し今年度の児童生徒の派遣及び受入事業は中止		
		3	食の異文化交流会 ○食の異文化交流会 ・外国人留学生と市民との、食を通じた異文化交流会を開催する。	留学生の対応できる言語	対応	山梨県女性のつばさ連絡協議会こうふ支部会	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり	秘書課 (国際親交委員会)	11月に食の異文化交流会を開催予定である。		
		4	留学生と高校生との交流会 ○留学生と高校生との交流会 ・市内4大学の留学生と市内高校生によるイベント等を通じた交流を行う。	留学生の対応できる言語	—	なし	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり	国際交流課	留学生と高校生の交流イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら開催内容を検討していく。		
		5	留学生による生活情報等の発信 ○留学生レポーターによるブログの発信 ・市内大学等に在籍する留学生を留学生レポーターに委嘱し、日本語と母国語でブログ記事を作成し、情報発信していただく。 ○やさしい日本語対応に努める。	留学生の対応できる言語	対応	県内大学、専門学校	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの減少、魅力発見ツアー未開催など、留学生レポーターに甲府の魅力伝える場が減っている。	情報発信課	令和3年度は5名の留学生レポーターを任命している。コロナ禍の影響により、ブログでの配信はまだ行っていない。	住みやすい街として生活情報を発信してもらうことは、この状況下でも十分可能だと思える。	学生レポーターは、本市の魅力を学生の視点に立って紹介することとしており、本市の各地域の話題又は情報を取材し、記事を作成している。コロナ禍の影響により、取材に赴くことができないため、現在ブログでの配信ができていない。
		6	国際交流員の活用 ○フランス人の国際交流員による、放課後児童クラブ等での遊びによる異文化体験の実施。	フランス語	—	なし	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり	国際交流課	出前講座等については、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら開催内容を検討していく。		
		7	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の推進 ○コロナウイルスの影響により、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となった。2021年の開催に向け、フランス卓球・レスリング連盟との連絡調整を行うとともに、オリンピックを契機とした今後の交流事業等を検討していく。	フランス語	—	なし	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり	国際交流課	7月にフランス卓球・レスリングチームの事前合宿の受入を実施し、子どもたちとの交流や日本文化体験を行った。		

令和3年度 甲府市多文化共生推進事業計画

基本目標	基本施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	対応言語	やさしい 日本語	支援・関係団体等	課題・問題点	担当課	令和3年度8月末現在の進捗状況	委員からの意見・質問等(回答必要)	委員からの意見・質問に対する回答	
基本目標4 外国人材の活躍と持続可能な社会の実現	4-1 た地め域の 活 運 性 携 化 と の 協 推 進 の	1	外国人集住地域等との連携 ○情報活性化モデル地区の設置 ・外国人が集住しているモデル地区(新田地区)に対して、地区の自主運営を支援していく。	英・中・韓	対応	—	なし	市民課	モデル地区からの要請に答えらるよう準備していたが、8月末までは要請はなかった。			
		4-2 人材育成と労働環境の確保	1	●関係機関との連携による就業支援(継続) ○ハローワーク甲府等の関係機関と連携し、就業促進を促す。	日本語、ポ、ス	対応	山梨労働局、ハローワーク甲府	利用者の増加に努める。	雇用創生課	ハローワーク甲府等で相談業務を実施している。		
			2	●起業促進のための情報提供(新規) ○情報提供を行い、外国人の起業の推進に取り組む。	日本語	なし	甲府商工会議所等創業支援機関	多文化担当より効果的な情報提供先の情報を知りたい	商工課	関係団体によるセミナー開催などの周知を図った。		
			3	人材育成研修・講座の支援 ○市役所職員のための「やさしい日本語講座」 ・外国人・日本人ともにわかりやすい日本語で接遇することを目標に職員を対象に実施する。(隔年)	なし	対応	一般財団法人自治体国際化協会		市民課	7月29日に実施し、福祉関係・防災関係部局職員を含む20名が受講した。	この講座が始まった経緯を存じませんが、隔年開催なのはなぜか。	一般財団法人自治体国際化協会の「地域国際化推進アドバイザー派遣」事業を利用しており、事業利用者間の公平性を保つため隔年で利用している。 隔年開催でも効果があると思われるため。
	4	多文化共生に向けた外国人市民の人材活用 ○多文化共生リーダーの育成 ・「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」における各種体験等を通して多文化共生のリーダーを育成していく。 ①定期実施 ②出前講座	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民		市民課	①10月19日より4日(全8回)開催予定。 ②検討中	多文化共生リーダーとはどういう人で、これまでどのくらい育成したのか。	外国人集住地域において、災害時や自治会活動時に、他の外国人市民の支援者となれるような知識や意欲を持った方を想定しています。認定制度は設けておりません。まずは、やさしい日本語会話・異文化体験サロンを通して、意欲のある方とつながりを構築して参ります。		
	4-3 お 留 け 学 生 の 就 職 地 域 促 進 に	1	地域における留学生の就職促進 ○外国人(主に留学生)と市内企業の雇用にかかるマッチング機会を創出し、市内企業への就職を促進する。	日本語※チラシを英、中(簡)ポ、(予定)	対応	ハローワーク甲府、ハローワーク甲府管内4市1町	コロナ禍により、参加者及び参加企業が少なかったことから、就職内定者数を含め、参加者及び参加企業数の増加に努める。	雇用創生課	10月20日の開催に向け、準備中である。	留学生に対する就職支援については、県・甲府市・山梨大学等で取り組んでいるが、どのように連携しているのか。昨年度(10月28日)の就職ガイダンスのその後の実績等は。	令和3年1月に、山梨大学の「山梨留学生就職促進プログラム」に参画をし、各団体と連携したセミナーを2回開催し、留学生の就職支援を行っている。また、ハローワーク甲府管内5市1町で連携し、外国人向け就職ガイダンスを10月20日に実施する。	
		2	留学生に対する生活等に関する支援(継続) ○ふるさと納税を活用した、国際交流推進補助金により、留学生の生活支援や地域住民との交流イベントの実施	留学生の対応できる言語	-	市内4大学	新型コロナウイルス感染症拡大状況により、内容の変更の可能性あり。	国際交流課	新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら交流イベントの実施や生活支援を検討していく。			

留意事項
多文化共生
対応言語の種類
やさしい日本語
国籍や民族などの異なる人々が、文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
英語＝英、中国語＝中(簡)・中(繁)、韓国語＝韓、ポルトガル語＝ポ、スペイン語＝ス、タイ語＝タイ、タガログ語＝タ、その他＝他
対応済＝「対応」、未対応＝「なし」、該当なし＝「—」